

# 農政時流

第 35 号

平成26年10月1日発行

宮城県農業会議

仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL / 022-275-9164

E-MAIL / 04miyagi@nca.or.jp

1面：就任あいさつ / 第82回宮城県農業会議通常総会～新たな体制でスタート～  
 2～3面：新役員紹介 / 常任会議員紹介 / 市町村農業委員会会長紹介  
 4面：第22回農業委員統一選挙結果  
 ：新任農業委員研修会開催  
 4～5面：農業委員会改革の概要～「規制改革実施計画の」内容～

5面：平成27年度宮城県農業施策等への建議  
 6面：女性の農業委員への登用促進要請活動  
 ：全国農業新聞の普及推進  
 6～7面：トピックス～各種団体・協議会からの報告～  
 8面：かけはし「がんばる農業委員」  
 ：お知らせ（宮城県農業会議設立60周年記念式典並びに第58回宮城県農業委員大会 ほか）

## 就任のごあいさつ

宮城県農業会議  
 会長 中村 功



去る8月11日に開催された第82回宮城県農業会議通常総会において、会長に選出されました中村功でございます。引き続きよろしくお願い申し上げます。

「東日本大震災」から3年半以上が経過しましたが、まだまだ、被災地では復旧・復興を実感できない皆様も多いかと思えます。県においては、本年度から「県震災復興計画」の

「再生期」4カ年をスタートさせ、着実な復旧・復興の歩みを進めております。

一方、国においては、農業・農村全体の所得を今後10年間で倍増させることを目指し、「農地中間管理機構」の創設、「経営所得安定対策」の見直しなど、4つの農政改革が平成26年度を実行元年として取り組みを開始しております。また、「農業の多面的機能促進法」が6月13日に成立しました。施行期日が来年4月1日となっており、農業委員会組織としても支基基礎である法定化された「農地台帳」の整備・補完に万全を期していく必要があります。

現在、農業委員会制度について、政府・与党は「農業の成長産業化に向けた改革」として6月24日に決定された「規制改革実施計画」や「農林水産業・地域の活力創造プラン」をもとに制度設計し、改正法案等が来年1月下旬開会の次期通常国会へ提出することとしています。これらの法案検討に当たっては「真の農業委員会活動の強化」につながるよう、系統三組織としても引き続き政府・国会に対し要請活動を行って参ります。

こうした厳しい組織情勢を踏まえ、「第五次農委組織改革プログラム」の実現に向け、本年度から「農地を活かし、担い手を応援する運動」を展開しておりますので、皆様方のより一層のご理解、ご支援をお願い申し上げます。

## 第82回宮城県農業会議通常総会を開催

～新たな体制でスタート～

第82回宮城県農業会議通常総会を、8月11日(月)午後1時30分から仙台市「ホテル白萩」で開催しました。今回の総会は、7月に「第22回市町村農業委員統一選挙」が実施されたことにより農業会議の新しい組織体制を確立するために開催したものです。

主催者を代表して中村会長から挨拶があり、次に、来賓を代表して宮城県知事代理として出席した県農林水産部の吉田部長からご祝辞をいただきました。議事に入り、第1号議案の「平成25年度事業報告及び収支決算について」は原案通り承認をいただき、続いて、正副会長及び監査委員の選挙を行い、会長には中村功会議員（学識経験者）、副会長には渡辺憲二会議員（名取市）、秋山耕会議員（登米市）の両人が選出されました。また、監査委員として平間博会議員（蔵王町）、浅野一郎会議員（大衡村）、畑岡茂会議員（涌谷町）の三人が選出されました。

最後に、協議として「農業委員会制度・組織改革への慎重な対応を求める要請(案)」を満場一致で決議し、政府・県選出国会議員に要請活動を行うことを申し合せ、総会を終了しました。



第82回通常総会で挨拶する中村会長

# 新 役 員 紹 介

会長	副会長	副会長	監査委員	監査委員	監査委員
					
農業会議常任会議員 宮城県議員 中 村 功	農業会議常任会議員 登米市農業委員会会長 秋 山 耕 農業委員：8期	農業会議常任会議員 名取市農業委員会会長 渡 辺 憲 二 農業委員：7期	蔵王町農業委員会会長 平 間 博 農業委員：4期	大衡村農業委員会会長 浅 野 一 郎 農業委員：9期	涌谷町農業委員会会長 畑 岡 茂 農業委員：7期

# 常 任 会 議 員 紹 介

第 1 号 会 議 員

					
村田町 大 沼 善 明 農業委員：4期	川崎町 大 松 一 男 農業委員：8期	仙台市 佐々木 均 農業委員：6期	多賀城市 伊 藤 政 幸 農業委員：5期	大和町 文 屋 芳 光 農業委員：4期	大崎市 鈴 木 悟 農業委員：11期

				
加美町 我孫子 武 二 農業委員：7期	美里町 渡 邊 雅 光 農業委員：4期	栗原市 鈴 木 康 則 農業委員：7期	石巻市 高 橋 長 一 郎 農業委員：5期	南三陸町 遠 藤 重 幸 農業委員：6期

第 2 号 会 議 員

第 3 号 会 議 員

第 5 号 会 議 員

					
宮城県農業協同 組合中央会 石 川 壽 一	宮城県農業共済 組合連合会 三 浦 恒 一	公益社団法人 みやぎ農業振興公社 高 橋 正 道	宮城県土地改良 事業団体連合会 高 橋 清 隆	宮城県農業法人協会 阿 部 雅 良	宮城県認定農業者 組織連絡協議会 高 橋 幸 三

第 6 号 会 議 員

				
学識経験者 (みやぎアグリレディス21) 伊 藤 恵 子	宮城県町村会 (色麻町長) 伊 藤 拓 哉	全国農業協同組合 連合会宮城県本部 菊 地 潔	宮城県市長会 (名取市長) 佐々木 一十郎	全国共済農業協同組合 連合会宮城県本部 三 塚 啓 一

# 市町村農業委員会会長紹介

役員・常任会議員を除く。

 白石市 齋藤 國一 農業委員：5期	 角田市 横山 誠一 農業委員：4期	 七ヶ宿町 太田 幸一 農業委員：8期	 大河原町 加藤 勇治郎 農業委員：3期	 柴田町 岩間 良隆 農業委員：3期	 丸森町 菅野 範夫 農業委員：7期
--	--	---	--	--	--

 塩竈市 島津 功 農業委員：4期	 岩沼市 大村 敏明 農業委員：4期	 亘理町 青柳 俊一 農業委員：8期	 山元町 齋藤 正直 農業委員：5期	 松島町 林 裕志 農業委員：5期	 七ヶ浜町 渡辺 庄哉 農業委員：5期
---	--	--	--	---	---

 利府町 渡邊 賢 農業委員：2期	 大郷町 島貫 守幸 農業委員：3期	 富谷町 浅野 武志 農業委員：2期	 色麻町 堀籠 勝恵 農業委員：7期	 東松島市 大山 道保 農業委員：2期	 女川町 木村 征一 農業委員：9期
---	--	--	--	---	--

 気仙沼市 吉田 昭則 農業委員：6期
---



国が支える 安心が大きくなる

**担い手積立年金**

**農業者年金** [愛称]

## 第22回農業委員統一選挙結果について

### ～(女性委員75人・認定農業者303人誕生)～

本年度は全国的に3年に一度の農業委員の改選時期にあたり、本県でも7月に県内35委員会のうち、16委員会(49選挙区)で選挙がありました。選挙の結果は下表のとおりであります。県内の農業委員数(実数)は平成23年改選時の710人から9人減の701人となりました。このうち選挙・選任を合わせた1期目の新任農業委員は229人で農業委員総数の32.7%となっております。

一方、多様な人材確保に向け系統組織として取り組んできた女性農業者や認定農業者の選出については、女性農業委員が前回の23市町村の51人から24人増の28市町村75人(委員全体の10.7%)となり、また認定農業者は289人から14人増の303人(委員全体の43.2%)となりました。

第22回農業委員統一選挙改選状況 平成26年8月1日時点(単位:人)

区 分	選挙委員数		選任委員数 (全体・議会)	合計委員数		女性委員			認定農業者		
	(定数)	実数		(実数)	新任	選挙	選任	合計	選挙	選任	合計
第21回改選 (平成23年)	546	533	177	710	194	17	34	51	231	58	289
第22回改選 (平成26年)	536	523	178	701	229	26	49	75	238	65	303
前回比	10	10	1	9	34	9	15	24	7	7	14

今後、農業委員会制度の法律改正に向けた議論が本格化する中で、今回の改選で女性農業者や認定農業者が増えたことは、これからの農業委員会活動の強化に向け、その活躍が大いに期待されることです。

系統組織としては、今年度から新たに農業委員会活動の一層の強化を目指した「農地を活かし、担い手を応援する運動」を推進しております。

農業委員の皆様には、農業者の公的代表としての位置づけや役割をふまえ、積極的に「地域で目に見える活動」の取組を行っていただきますようお願い致します。

### 新任農業委員研修会を開催

去る8月6日、新しく農業委員になられた皆さんを対象に、農業委員会制度や農地法等に関する研修会を開催しました。当日は140名の参加をいただき、本会渡辺副会長の挨拶に引き続き、栗野局長から「農業委員会制度と系統組織を巡る情勢」について、また、県庁農林水産部の畠山主査、丸山主事からは「農地法及び農地関連法」について説明を頂きました。会場からは、震災復興地域での園芸ハウス建設に関する転用の質問や、農地法に関するより詳細な説明を求める要望がありました。

参加された皆さんには、今回の研修を通じ、改めて農業委員会制度や根拠法令について学んでいただきました。また、農地を守り、担い手を育て

る使命・役割についても、ご理解いただけたものと思います。皆さんには、農業委員活動を通じ「地域の良き相談役」として活躍されるようお願い致します。

### 農業委員会改革の概要

#### ～「規制改革実施計画」の内容～

農業委員会制度・組織をめぐる規制改革について、去る6月13日に政府の規制改革会議は、改革重点5分野で235項目についてとりまとめた「規制改革に関する第2次答申」を安倍内閣総理大臣に提出されました。

この改革の重点5分野の一つに「農業」が取り上げられており、その中で農地中間管理機構の創設、農業委員会等の見直し、農業生産法人

の見直し、農業協同組合の見直しの4点について、改革の内容がとりまとめられ、その後、改革重点分野の具体的な実現に向けた「規制改革実施計画」が6月24日に閣議決定しております。

この実施計画は、答申で示された規制改革事項について、それぞれ実施時期を定めて検討・結論を出していくものや、法律上の措置が必要なものは法案を次期通常国会への提出を目指していくものとして整理されております。

そうした中で、農業委員会等の見直しについては、改革事項として10項目が上げられており、特に、法律改正等が伴うものとして、一つ目は、農業委員の選挙制度を廃止するとともに議会推薦や農業団体推薦による選任制度も廃止し、市町村議会の同意を要件とする市町村長の選任委員に一元化するというものです。また、機動的な対応をするため農業委員数は半分程度にし、農業委員の過半は認定農業者とし、利害関係者がなく公正に判断できる者を入れる等、さらに報酬水準を引き上げる検討をしていくとしております。

二つ目は、担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進などに取り組む農地利用最適化推進委員（仮称）の新設で、地域の推薦や公募により農業委員会が選任していくものとしております。

三つ目は、県農業会議・全国農業会議所制度の見直しで、従来の3段階制を農業委員会ネットワークとして役割を見直し、県・国が法律上指定する制度に移行するというものです。

四つ目は、農業及び農民に関する事項についての意見公表、行政庁への建議等の業務は農業委員会等に関する法律に基づく業務から除外とするものです。

その他の改革事項については、今年度中に検討し結論を出して平成27年度に措置する予定としております。

農業委員会系統組織としては、今後、政府・与党が法案を検討していく中で、組織検討を通じた改革案を提起して行くこととし、各農業委員会の意見を積み上げ、それを全国農業会議所がとりまとめ、今後の農業委員会法の改正に反映させるための要請活動に取り組んでいくものとしております。

## 平成27年度 宮城県農業施策等への建議 ～みやぎの力強い農業を目指して～

平成26年9月1日(月)に県農林水産部長室で、農業会議の役員・運営委員等で、宮城県知事に対する建議を行いました。県側からは吉田農林水産部長、寺田技監、小島技術参事などが対応されました。

農業会議では、毎年、地域農業の振興・発展に向けて市町村農業委員会などから「現場の声」を積み上げ、県の農業施策に対する建議活動に取り組んでおります。本年度は、農業委員会系統組織活動の根幹となる「土地」と「人」対策を中心に「東日本大震災」から3年余りを経過した中での課題など、次の5項目について提案をとりまとめました。

- I 東日本大震災復興対策について
- II 優良農地の確保と有効活用について
- III 農業・農村における人材育成について
- IV その他の農業振興対策について
- V 国関連に対する支援・要請事項について

これらに対して、吉田部長からは「提案された事項について十分に考慮しつつ、震災復興については一層のスピード感をもって取り組むとともに、収益性の高い先進的で競争力のある農業の構築を図ること。人材育成については、各関係機関との連携のもと各種制度等を活用しながら、技術・経営指導などの総合的な支援に努めること。また、6月に国が示した農業改革を踏まえ、競争力のある農業の実現に向け、農業委員会等が地域農業の振興に果たしてきた役割や農地利用調整に関する実態を踏まえ、現場に混乱が生じないように、引き続き国に対し要望して参る」旨、回答をいただきました。



吉田農林水産部長と「建議書」を手交する中村会長

## 女性の農業委員への 登用促進要請活動

組織目標である「女性農業委員が登用されていない農業委員会の解消」と「1農業委員会あたり複数の女性農業委員選出」に向けて、農業委員会と農業会議、みやぎアグリレディス21は、昨年11月～今年4月にかけて県内12市町の市町長・議会議長への要請活動を行ってきました。

第4面に記載した今年7月の改選結果のとおり、県内の女性農業委員は75名となり農業委員全体の1割を超えましたが、国の男女共同参画基本計画の目標は3割以上で、依然として低い現状です。女性が登用されていない7農業委員会の解消と、女性が1名の8農業委員会における複数の選出に向けて、これからの改選の機会を捉えて更に取り組んでいきます。

また、農業会議とみやぎアグリレディス21は、意欲と能力のある女性農業者が積極的に社会参画できる環境づくりを進めるため、平成24年度から県内2会場で「女性の社会参画に関する懇談会」を開催しています。懇談会では、国の施策や県内の男女共同参画の現状を伝えるとともに、家庭や農業経営、地域における課題などについて話し合い、女性が主体となって活躍できる環境づくりの実現について話し合っています。

女性農業者が積極的に農業委員に立候補し、政策決定の場に参画して地域の声を国政につなぐことで、益々女性の社会参画が促進することを目指しています。



大郷町への要請活動

## ～全国農業新聞の普及推進について～

農業委員会系統組織紙である「全国農業新聞」の普及を図るため、7月から8月の2ヶ月間、農業委員会から推薦された49人の方々に全国農業新聞を試読していただきました。試読後に購読をお願いしたところ14人から申し込みがありました。また、後期対策として「農業委員1年1人1部運動」に取り組むため、9月から11月までを普及強調月間とし、農業委員数分のPR用新聞と普及資材（軍手）を各市町村農業委員会へお送りし、購読推進をお願いしております。

おかげさまで宮城県の購読部数は現在2,480部ですが、紙面で「宮城県版」を確保するためには2,700部以上の購読部数が必要となります。農業会議では、主催する各種研修会等を通じ購読推進して参りますが、農業委員の皆さんにも、業務活動に必要な情報源ですので是非お読み願うとともに、運動の趣旨をご理解の上、農業者の方々にも購読勧誘いただきますようお願いいたします。

## トピックス

～農業会議が事務局を担当する団体・協議会の活動を紹介します。～

### (1) 宮城県農業法人協会

宮城県農業法人協会（会長：(有)ダイアファーム 阿部雅良氏）には、現在96農業法人が加入し、農業経営の発展と会員同士の交流を目的に活動しています。6月に開催された総会では、阿部会長の挨拶に続き、来賓の佐々木東北農政局長から法人協会発展への励ましの言葉をいただきました。

議事の中では、昨今の農業を取巻く情勢変化やこれまでの活動を総括し、経営政策会議や委員会のあり方を見直すこととしました。具体的には、稲作や園芸、畜産といった専門分野毎に懇談会を設け、それぞれに特化した研修や情報交換を行うことにより、

会員の技術力向上や経営発展を目指そうとするものです。国の成長戦略でも農業法人の位置付けは高まっており、今後の役割が益々重要になると考えています。



来賓として祝辞をのべる佐々木東北農政局長

### (2) 県認定農業者組織連絡協議会

協議会は、自らの経営改善計画の達成と経営の安定・確立を目的に平成18年3月に設立されました。現在、県内30市町村の認定農業者が加入しており、会員数は4,968人（平成26年4月1日現在）にのびります。協議会の運営は、高橋幸三会長（登米市認定農業者連絡協議会会長）を筆頭に、16名の市町村

協議会会長等が役員となり、企画・運営に当たっています。活動内容は、TPPに関する要請活動、経営分析に関する研修会をはじめ、毎年約300名の認定農業者が集う「みやぎ農業担い手サミット」の開催、また地域農業を牽引するリーダーとして、担い手が現場で抱える諸問題についての国や県への要請活動などです。

特に、本年は米価の大幅下落が懸念されることから、9月13日（土）に自民党県連会長をはじめ与党の県選出国會議員に対し「米価に関する緊急要請」を実施しました。

今後とも、経営改善に資する活動はもちろんのこと、「人・農地プラン」や「農地中間管理事業」の担い手として、地域農業の振興・発展に向け、取り組んで参ります。



伊藤自民党県連会長（中央）へ「米価に関する緊急要請」を行う高橋会長（左）と佐々木副会長（右）

### (3) 宮城県稲作経営者会議

宮城県稲作経営者会議（会長 千葉孝行氏）は、年々稲作経営の厳しさが増す中、18名の会員が栽培技術の取得や農業経営研修会等の活動を行っています。この7月、今話題となっている「農地中間管理事業」について、仙台合同庁舎で本県農地中間管理機構である「(公社)みやぎ農業振興公社」と意見交換会を行いました。先ず振興公社から、事業や借受希望者の公募についての説明を受けた後、主に農地集積協力金の交付要件等について活発な意見交換がなされました。

千葉会長をはじめ大規模稲作経営に取り組んでいる会員は、制度を活用した規模の拡大に向け、決意を新たにしたいと思っております。

### (4) 宮城県農業者年金協議会

平成14年1月に積立方式・確定拠出型の政策年金として再スタートした農業者年金制度は、老後生活の安定と福祉の向上等に必要不可欠なものとして、農村社会に浸透してきておりますが、依然として加入資格はあっても制度を知らない対象者も多いことから、制度を理解していただく取り組みが必要です。

このため、昨年度から取り組んでいる「加入者累計13万人に向けた前期3カ年運動」では、20歳から39歳の新規加入者2,700人の確保を含む4,500人の年度目標を掲げ、全国運動を実施しております。

本県では、年間138人の新規加入者目標（うち20歳から39歳：56人）の達成に向け、宮城県農業会議と一体となって加入推進部長や農業委員会職員を対象とした研修会・説明会等の実施や参考資料の提供に努めています。

本年度は、8月末現在で27人の新規加入者（うち20歳から39歳：16人）を確保いただいておりますが、

今後も戸別訪問を中心とした加入推進活動に市町村農業者年金加入者協議会・農業委員会等と連携しながらお取り組みいただき、農業者年金制度の普及浸透にご協力くださいますようお願いいたします。

### (5) 宮城県農業委員会事務研究会

農業委員会は、平成26年4月の農地法改正に伴う農地台帳の法定化や精度向上に向けた取組強化、農地中間管理機構業務への積極的な関与など、役割の重要性が増しています。また、農地パトロール（利用状況調査）や利用意向調査を通じた遊休農地の解消、担い手への農地集積が期待されている一方で、農業協同組合・農業生産法人制度とともに、農業委員会制度についても見直しの方向が示されています。

このような中、農業委員会職員の資質向上や適正な事務実施を進めるため、宮城県農業委員会事務研究会では、日常業務のQ & Aの取りまとめや、研修会を実施しています。

特に本年度は、様々な業務の基礎資料となる農地台帳の整備に向け、全国農業会議所・県農林水産部農業振興課と一体となって農地台帳整備研修会を開催し、台帳の法定化や情報の公表に向けた取組を推進しています。

### (6) 女性農業委員による被災地支援活動

県内の女性農業委員で結成するみやぎアグリレディス21は、平成24年度から「東日本大震災被災地支援活動」を行っており、今年で3年目となります。

被災地支援活動は、東日本大震災の津波に被災して移転した県内3か所の保育所で年2回、花苗の植栽と食育活動支援を行ってきました。震災時には保育士に手を引かれ、抱えられて大津波から避難した子供たちですが、その表情は年々明るく、花苗等の生長を通して育てること、生きることの大切さを感じて欲しいと願っています。

また、全国女性農業委員ネットワークの活動に参加することで、県外の女性農業委員の活躍に触れる機会もあり、意識喚起しています。

女性の農業委員への登用促進活動をベースに、女性農業者の地位の向上と地域農業の活性化に向けた各種活動に取り組んでいます。



巨理町吉田保育園の皆さんと記念撮影「はいポーズ」

## かけはし「がんばる農業委員」



登米市農業委員 芳賀 秀二 委員 (41歳)

経営内容：果樹（りんご 160 a, もも 20 a), 水稲 162 a

就任回数：3期（選挙2回, 選任1回）

今回は、登米市登米地区でりんごと水稲の専門経営をしながら“若い力”で地域農業を牽引する芳賀秀二さんを紹介します。「県内のりんご産地で有名なのは亙理町とか山元町の名前が浮かんできますが、実は登米市が県内一の収穫・出荷量なんです」と語ってくれた秀二さん。現在160 aのりんご園に約20品種を栽培しています。生産のモットーは「樹上完熟りんごの生産」。太陽の光を熟すまでにいっぱい浴びた美味しい味と香りが売りです。

こうしたリンゴ専門農家としてがんばる秀二さんのもう一つの顔が、3期目に入った農業委員としての仕事です。農業委員会では、若い方から数えて2番目の年齢ながら「農地第2部会」の職務代理者として、農地の利用集積に係る相談や農地パトロールを通じた遊休未利用地対策などに積極的に取り組んでいます。

今後の抱負として、「地域を眺めていると“やる気”のある仲間が増えている感じ。だから、そうした雰囲気をもっと醸成したい。受委託や規模拡大などの相談・支援を通じ地域農業の振興、発展につなげたい」と話されます。そしてもう一つが農業者年金への加入促進です。「老後の豊かな生活のためには、農家にも会社勤めの退職者と同じ年金受給が必要」と熱く語ってくれました。

誠実でバイタリティあふれる人柄、そして地域の仲間と一緒に明日の農業のために頑張る姿には、農業委員としての強い使命感が伝わってきました。

## お知らせ

### 宮城県農業会議設立60周年記念式典 並びに第58回宮城県農業委員大会

本会が設立されてから今年で60周年を迎えました。例年の農業委員大会と併せて記念式典を開催します。

開催日時：平成26年11月19日(水)  
午後1時開会

開催場所：大和町「まほろばホール」

参集範囲：市町村農業委員、農業関係機関・団体等 700名

※詳しくは、農業委員会を通じてお知らせしますので、農業委員の皆さんには是非とも参加願います。

### 東北・北海道ブロック女性農業委員研修会

「女性の意識改革で農村社会を再生しよう!」をテーマに、青森市の男女共同参画プラザ「カダール」で11月28日(金)に開催します。当日は元山形大学教授で、農山村地域経済研究所所長の楠本雅弘氏の記念講演と女性農業委員登用促進活動の事例報告、並びに情勢報告が行われます。講師の楠本氏は、集落営農と地域活性化、農業経営管理等が専門であり、全国各地で経営コンサルタントや集落プロデュースを手掛けています。女性農業者が主体となって活躍できる地域農業への糸口を掴む研修となるよう、多くの皆さんのご参加をお願いいたします。

### 平成26年度定例行事の開催日程

行事名	常任会議員 会 議	農業者年金 相 談	若 年 者 就農相談会	定 例 就農相談会
場 所	仙 台 市 ホテル白萩	仙 台 市 JAビル7階 「ロッチデール ル ー ム」	仙 台 市 マークワンビル 12階 「みやぎ ジョブカフェ」	仙 台 市 県仙台合同庁舎 2階 201会議室
開催時間	13:30~	13:30 ~ 16:00	10:00 ~ 18:30	13:00 ~ 16:00
平成26年 10月	17日 (金)	-	9日 (木)	21日 (火)
11月	18日 (火)	11日 (火)	13日 (木)	18日 (火)
12月	18日 (木)	-	11日 (木)	16日 (火)
平成27年 1月	19日 (月)	13日 (火)	8日 (木)	20日 (火)
2月	18日 (水)	-	12日 (木)	17日 (火)
3月	18日 (水)	10日 (火)	12日 (木)	17日 (火)